

鹿島歓喜



茨城新聞

6月25日
土曜日

茨城新聞社

〒310-8686
水戸市笠原町978-25
電話(029)239-3001(代)
<http://ibarakinews.jp>

電子号外

定期購読のお申込みは
専用フリーダイヤル
0120-029-218

第1S制覇

速報ニュース強力配信

モバイル版茨城新聞



ガラケー&
スマホ対応
ドコモ・au・ソフトバンク



月額300円+税
通信料別途要

<http://nm.ibarakinews-s.jp>

サッカーの明治安田

J1第1ステージ(1S)最終節は25日、鹿嶋市神向寺の県立カシマサッカースタジアムなどで9試合があり、鹿島アントラーズはアビスパ福岡を2-0で下し、昨年11年ぶりに復活した2ステージ制前半の優勝を決めた。3万を越えるサポーターで、真っ赤に染まったスタジアムは歓喜の渦に包まれた。

鹿島のステージ優勝は、2001年の第2ステージ以来6度目で、

鹿島ー福岡 前半、ヘディングで先制ゴールを決め、金崎夢生らと喜ぶ鹿島・山本脩斗 Ⅱ
カシマスタジアム

11月から開催するチャ

ンピオンシップの出場権を獲得した。今季の通算成績は12勝3分け2敗、勝ち点39。

決めた。

今季の鹿島は開幕2連勝で好スタートを切り、その後も上位を維持した。第12節の横浜F・マリノス戦から攻守がかみ合いだし、破竹の5連勝で最終節を前に首位に立っていた。鹿島は前半27分、柴崎岳の右コーナーキックを山本脩斗が頭で合わせ先制。同37分には金崎夢生の短いクロスで土居聖真が押し込んで追加点を奪い、試合の主導権を握った。後半も危ない試合運びで勝ち点3を積み上げ、第1S制覇を

石井正忠監督

「今日は多くの人に応援に来ていただいたので、勝って優勝を決めたかった、選手が90分間、しっかり戦ってくれた。これも応援してくれた人たちのおかげ、一緒に勝ち取った優勝。トレーニングを積み重ねた成果で継続していきたい」